

評価シート <1 予防>

【第2次川越市空家等対策計画】 ～令和5年度実績～

取組方針	分類	施策内容	所管課	取組状況			回答欄	
				実施中	拡充/速やかな実施	実施を検討	「実績」または「検討状況等」	評価
1 空家等の発生予防	(1)発生予防のための情報提供・意識啓発	空家等の発生予防に関する広報活動の充実（広報紙の活用、パンフレット等の作成・配布）	防犯・交通安全課	○			広報川越(令和5年10月号)に特集記事を掲載した。また、空き家の予防・管理・活用を啓発する冊子を作成した。空き家所有者等への送付または関係課窓口で配布し、市民等へ周知した。 作成部数：1,400部	住まいの管理・修繕等の必要性、相談窓口の案内や市の支援制度を周知し、空家等の発生予防に関する意識啓発を図った。
		相続対策のための講座の周知	防犯・交通安全課	○			埼玉県が実施する「相続おしかけ講座」を周知し、高齢者等が地域で司法書士・行政書士に相談する機会を設けられるよう呼びかけた。 令和5年度実績：9回	適切な相続が行われることにより、空家等の発生を抑制するよう啓発ができた。
	(2)専門家団体・関連団体等との連携による相談体制の整備・拡充	空家等の発生予防に関する相談会・セミナー等の開催	防犯・交通安全課	○			専門家団体やNPO法人等と連携し、空家等の発生予防に関する相談会を1回開催し、相談会の会場にてミニセミナーを実施した。	相談会のノウハウのある団体との連携で、市内で相談会を開催することができた。
		市民相談	広聴課	○			令和5年度市民相談件数 5,316件 (相談内容の詳細については未把握)	相続、家族関係、相続関係など家庭生活及び社会生活上の様々な相談に応じることで、空家等の発生予防に寄与した。
		相談機会の創出	防犯・交通安全課	○			空家等所有者等から相談があった際、空き家相談の総合窓口として県の「空き家コーディネーター」を案内した。	県が常設の相談窓口を開設しているため、そちらを案内している。市として市民相談の他に窓口を設置すべきか検討していく。
		社会福祉協議会等との連携による高齢者世帯への支援	福祉推進課	○			引き続き民生委員・児童委員及び社会福祉協議会と連携し、地域の状況把握を行い、独居高齢者等が地域で孤立しないように努めた。	独居高齢者等と関わりながら、悩みごとに対応することで、空家等の発生予防に寄与した。
	(3)関係団体等のノウハウ等を活用した空家等の発生予防	民間事業者やNPO法人等のノウハウやサービスの活用	防犯・交通安全課	○			国のモデル事業に選定された民間事業者と、空き家の除却促進に関する連携協定を締結し、市ホームページでの解体費用シミュレーターの提供を開始し、インターネット上で、建物の構造等を入力していくと解体費用の概算を把握できるようにした。また、協働発行事業者と協定を締結し、空き家の予防・管理・活用を啓発する冊子を作成した。空き家所有者等への送付または関係課窓口で配布し、市民等へ周知した。 作成部数：1,400部	令和5年度は2団体(解体事業者・広告事業者)と協定を締結したが、国のモデル事業や先行自治体の例を研究し、本市との連携が可能な団体について検討を進めていく。
	(4)各種助成制度等の活用を通じた安全・安心な住まいの確保	住宅改修補助金制度	産業振興課	○			補助件数：367件 補助金交付額：17,356,000円	市内の施工業者が行う改修工事に対して、工事費の5%（上限5万円）の補助を行うことで約5億7千万円の受注機会を創出し、市内産業の振興に寄与しつつ、継続して住宅に居住できるよう支援している。
		居宅改善費助成	高齢者いきがい課	○			川越市在宅高齢者居宅改善費助成事業 予算額4,000千円、交付件数53件、交付額3,770千円	在宅高齢者に対し、居宅の改善に要する経費の助成を行うことにより、要介護状態への進行を予防し、居宅での継続した生活を支援することで、空家等の発生の抑制に寄与することができた。

評価シート <1 予防>

【第2次川越市空家等対策計画】 ～令和5年度実績～

取組方針	分類	施策内容	所管課	取組状況			回答欄	
				実施中	拡充/速やかな実施	実施を検討	「実績」または「検討状況等」	評価
1 空家等の発生予防	(4) 各種助成制度等の活用を通じた安全・安心な住まいの確保	介護保険住宅改修費支給制度	介護保険課	○			件数：1,174件 住宅改修費：100,131,414円	住宅の不都合な部分を改修するための費用を支給することで、利用者が生活しやすく、介護者が介護しやすい住環境を整えた。
		旧耐震建築物の耐震診断・耐震改修補助制度	建築指導課	○			耐震診断補助金：件数0件 補助金交付額：0円 耐震改修補助金：木造住宅1件、共同住宅1件	申請件数が少ないものの、既存建築物の耐震化を図ることで、地震発生時の被害を軽減することができるようにし、空家等の発生予防に寄与した。
		金融機関との協定締結	防犯・交通安全課	○			本市と埼玉懸信用金庫との包括連携協定における連携事項の一つとして、金利の優遇が受けられる「さいしん空き家活用ローン」について、平成30年6月に覚書を締結し、継続している。	住みやすい住宅として価値を維持し、安全・安心に居住できる支援体制を整えた。
		景観重要建造物に指定した歴史的建築物の外観及び外観の保全上必要な構造に関する修理への助成等による活用支援、定住促進	都市景観課	○			景観重要建造物に対し、外観及び外観の保全上必要な構造に関する修理への助成を行った。 景観重要建造物等保存事業補助金：助成件数4件、助成金額：7,480,000円	修理に対する助成を行ったことで、歴史的建造物の活用や定住の促進に繋がった。